学科学内	T学数理I 講義 通年 学習教育 [前期]鄭 萬溶 (IFONG Man-Yong)
年 D3	八糖 Engineering 担当 「汝期」中田 樹樹
'	分類 Engineering 必修 2 学修単位 C (FUNADA Toshio)
	Newtonの運動法則を基本原理とする古典力学を講義する。d'Alembertの原理に基
概要	づき物体の運動方程式を導き、それを解析して運動を議論する。前期後半から
	Lagrange関数による運動方程式の導出を扱う。2004年度からFE-handbookを参考に
	して、講義内容を変更する。詳細は授業の祭にガイダンスする。
61 I-	
│ 科目目標 │ (到達目標)	力学の基本を理解し、運動に関する演習問題を解いて力学的特徴を説明できる学 力をつける。力学的解析に必要な数学や力学の基本的な英語表現を習得する。
(判) (判) (判)	刀をつける。刀子的牌例に必要は数子で刀子の基本的な英語表現を首付する。
	戸田盛和著 力学(岩波書店)、小出昭一郎著 解析力学(岩波書店)、数学公
教科書	式 I (岩波書店)、the Fundamentals of Engineering (FE) Supplied-Reference
器材等	Handbook, 8th Edition (© 2008),
	ttp://www.ncees.org/exams/study_materials/fe_handbook/index.php
評価の基準と	定期試験評価60%、学習ノートを回収し学習状況を採点して評価20%、宿題20%、学習の対象では思えた状況を採点して評価20%、宿題20%、学
方法	習到達度試験の物理学の結果を定期試験と同等に扱い成績に加える
関連科目	
参観	授業計画
第 1回	工学数理を学ぶ意義:どのような立場・観点から「力学」を学ぶか
第 2回 〇	運動方程式: d'Alembertの原理と運動方程式 質点・バネ系の運動の記述 (運動
第 3回	質点・バネ系の運動:質点・バネ系の運動方程式の解法(運動の積分、energy)
第 4回 〇 第 5回	質点・バネ系の運動:質点・バネ系の運動方程式の解法(初期値問題) 質点・バネ系の運動:複数の質点・バネ系の運動(直列バネ,並列バネ,有効
第 6回	ラグランジェの運動方程式:複数の質点・バネ系の運動(初期値問題)
第 7回 ○	1 自由度減衰振動系の自由振動(減衰係数、減衰比、過減衰、不足減衰、臨界減
第 8回 ×	前期中間試験
第 9回 ○ 第 10回 ○	1 自由度減衰振動系の強制振動(応答関数、応答倍率) フーリエ級数、周期励振による応答(矩形パルス、ノコギリパルス、三角パル
第 11回 〇	フェリエ版数、周期加級による心合(足形バルへ、フェイリバルへ、 <u>一</u> 角バル インパルスによる応答
第 12回 ○	2自由度系(2質点系)、固有値解析
第 13回 〇	慣性モーメント(円筒、円板、球、球殻、棒)
第 14回 ○ ○ 第 15回 ○	振子の運動:単振子の運動(デカルト座標系と極座標系による記述;角運動量振子の運動:Lagrange関数とLagrangeの運動方程式
第 15回 ○ 第 16回 ×	振りの運動:Lagrange関数とLagrangeの運動力程式 前期期末試験
第 17回	後期のガイダンスと前期の復習
第 18回 〇	万有引力による2つの物体の運動(質量中心、Galilei変換)
第 19回 〇	万有引力による2つの物体の運動(energy保存則と角運動量保存則)
第 20回 ○ 第 21回 ○	2体問題の解析/記述のreduction・楕円、放物線、双曲線軌道 Keplerの第1、第2、第3法則
第 22回	2 体問題と3 体問題;制限3 体問題、摂動
第 23回 ○	2つのバネの並列moment、二重振り子;Lagrangeの運動方程式
第 24回 ×	後期中間試験
第 25回 ○ 第 26回 ○	採点結果に基づく諸注意と復習 質点・バネ・ダンパ系の運動
第 27回	外力による強制振動
第 28回 ○	外力に対する系の応答
第 29回 〇	Coulomb摩擦/物体の衝突/剛体の運動
第 30回 ○ 第 31回 ×	慣性系から非慣性系への変換 学年末試験
<u>第 31回 へ</u> 授業アンケー	授業アンケートの結果を分析し、授業のやり方や授業内容を変更するなど、改
トへの対応	一直を図る。
オフィス	
アワー	授業のある日の昼休みまたは放課後の2時間
/# *	ナカ粉はけ
備考	主な教材は、指定したURLからdownloadできる。

変更履歴

2009.03.19更新